

平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

絆4：高速道路と市町村合併を支援する道路整備プログラム

(主担当部局：県土整備部)

- (1) 市町村合併支援道路整備事業(県管理道路)
- (2) 市町村合併を支援する直轄道路事業
- (3) 高速道路に関連する用地取得対策事業
- (4) 高速道路に関連する施設整備事業
- (5) 高速道路に関連する市町村補助事業
- (6) 高速道路網に関連する直轄道路事業

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	12,839,231	12,903,000	13,052,000	38,794,000程度
見直し後	10,140,383	15,076,973 (2,571,187)	11,369,218	36,586,574

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算要求額

17年度()は、16年度からの繰越額で予算現額の内数

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) 市町村合併を支援する道路の供用延長 (累計)	目標値	4.4 km	12.0 km	24.1 km
	実績値	0.1 km	12.0 km	
(2) 県内の高速道路等の新規供用延長 (累計)	目標値	4.0 km	17.5 km	17.5 km
	実績値	4.0 km	17.5 km	

注：17年度実績値は11月末現在の見込み値

<進捗状況(現状と課題)>

- ・道路は県民の日常生活を支える大切な社会基盤であり、これまでも順次整備を進めてきました。しかし、幹線道路の渋滞や大雨による度重なる通行止め、また、昨年度に発生した台風21号による国道42号、国道422号などの道路の寸断など、県民の不満や不安は解消されておらず、県民の道路整備に対する期待は依然として大きなものがあります。
- ・また、市町村合併をはじめとした新たな地域動向などに対応した道路整備が必要です。
- ・道路は、さまざまな役割を担った道路が相互につながり、ネットワークを形成することにより効果的に機能するものであり、その根幹をなす高速道路の整備や市町村合併を支援する道路の整備を重点的に進めることにより、人や地域の活発な交流・連携が進み、より強い絆づくりが図られます。
- ・平成17年度末には、近畿自動車道紀勢線の大宮大台から勢和多気間が供用予定であ

るなど、取組による着実な効果がみられますが、県民の道路整備に対する期待に応えるため、引き続き、計画的かつ着実に道路整備を推進する必要があります。

<平成 18 年度の取組方向>

道路網は、さまざまな役割を担った道路が相互につながり、ネットワークを形成することにより効果的に機能するものであり、その根幹をなす高速道路や市町村合併を支援する道路整備を重点的に進めてきており、平成 16 年度には、東名阪自動車道亀山直結線 4.0km が供用され、さらに今年度末には、近畿自動車道紀勢線の大宮大台から勢和多気間の 13.0km が供用予定であるなど人や地域のより強い絆づくりを支援しています。

今後も県民の道路整備に対する期待に応えるため、引き続き、第二名神高速道路(四日市 亀山間)、近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路、東海環状自動車道などの高速道路網や北勢バイパス、中勢バイパスなどの市町村合併を支援する直轄国道網について、より一層の整備促進を図ります。また、市町村合併支援道路については、重点プログラムの 3 年間の供用目標 24.1km の達成を目指して取り組みます。

<主な予算要求事業>

市町村合併支援道路整備事業(県管理道路)【18 年度事業費 5,298,000 千円】

地域間の交流、連携が図られるように市町村合併を支援する県管理道路の整備を推進します。

市町村合併を支援する直轄道路事業【18 年度事業費 3,592,885 千円】

国が行う道路事業に対して負担金を支出し、県内の市町村合併を支援する幹線道路の整備促進を図ります。

高速道路に関連する用地取得対策事業【18 年度事業費 140,000 千円】

高速道路に関連する用地事務を支援し、円滑な事業促進を図ります。

高速道路に関連する施設整備事業【18 年度事業費 90,000 千円】

高速道路の整備に関連して必要となる河川、砂防施設等を整備します。

高速道路に関連する市町村補助事業【18 年度事業費 125,000 千円】

高速道路に関連して市町村が実施する道路等の事業に補助を行います。

高速道路網に関連する直轄道路事業【18 年度事業費 2,123,333 千円】

高速道路の整備にあわせ、直轄道路事業に負担金を支出し、県内の道路ネットワークの形成を促進します。